

発行所
津 奈 木 公 民 館
芦北郡津奈木町
電話(78)311140
印刷所 旭 印 刷
電話(水俣)4101番
○右の題字は「徳富蘇峰さん」
の額を写したものです。

津 奈 木



豆まき

「鬼は外、」福は内、と園児たちの元気な声が部屋いっぱい響いてますよ。今日は節分、自分たちで作った大きな鬼にむかって力いっぱい豆を投げてます。

古くは中国唐代に伝来した追儺の儀式で、豆を投げて鬼を追うことは室町期に明の風習が伝えられたものだとわかっています。

豆まきの作法もいろいろですが、普通主人が年男になって身を清め礼服を着て豆をいり、さんぼうか升に入れてまくのが古くから行なわれていました。「福は内鬼は外、福の神とんでござれ」「恵比寿大黒福の神、福は内鬼は外」「福は内鬼は外、何をつぶす、鬼の目玉をつぶす」など、地方によっていろいろな唱え方があるものですね。

泣き虫鬼、おこりんぼ鬼、ちらかし鬼、好き嫌い鬼、など自分の心の中にいる困った鬼、悪い鬼をこの豆まきで追い出すことができたでしょうか？

立春も過ぎ春はもうすぐそこまで来ています。

一言

非行やいじめ、衝動的な犯罪等の多発、子供たちを取り巻く問題が深刻になっています。

このような問題の要因に親・大人・社会の在り方が大きく関わっているようです。子供がのびのび育つ環境を整え、健全な成長を図るのは、親・大人の責任です。

そのためにはまず、親・大人の考えを見直し、モラルの向上や、地域ぐるみで教育への関心を高めていくべきではないでしょうか。

「大人自身が変わらないれば子供は変わらない。」その事に気づき、子供と正面から向き合い、対話を深めましょう。

子供たちの良い行い、勇気ある行動を目にしたら、その場でほめてあげる。

地域の子供たちに進んで挨拶や声をかけをして、日頃から顔見知りになり、危険な遊びをしている子供には注意をしてあげるなど。

私たち大人がしなければならぬ事がたくさんあります。身近なところから、出来るはすです。始めてみましょう。

(津奈木小PTA会長)

赤崎小学校に 念願の緞帳完成

二月五日赤崎小学校の体育館に、永年の要望でありました立派な緞帳が完成しました。

今回、寄付金や町当局的援助により新調され、そのお披露目がありました。

式典には、全児童をはじめ、保護者、地区民、老人会、婦人会の各代表と、本町教育委員会の参加のもとに盛大に挙行されました。式典終了の後、学習発表会が実施され、各学年のユニークで真剣な発表に、盛大な声援が送られました。児童たちの満足した様子が印象的で、特に「昔の学校の様子を調べて」という発表を聞いて、赤崎小学校創立の歴史を、これまでの経緯について知ることができました。さらに、児童たちの母校に対する想いと、存続の気持ちの伝わり、文化の核としての学校の存在価値を新たに教えられたような気がしました。また、休憩時間には、昔の遊び道具(コマ、竹馬、羽子板、お手玉等)を持ち寄り老人会の方達と遊ぶ子どもたちもとり、遊び方の指導をされるお年寄も生き生きとして楽しそうでした。

今後、この緞帳が、赤崎小学校のこれからの学校の歴史を刻み、学校、地域の益々の発展を見守り続けてほしい気持ちになりました。

庁舎美術館(88) 「作品」一九六〇年代 油彩



境野一之作

高熱によって溶かし、溶けた真っ赤な流体から、なにかを作られようとしている。

自然と、精神を裸にして、始源の状態にまでつれもどそうとしている。

「あなたは、なにを作られようとしているのですか？」

混沌のカオスの中から、無限の秩序を生みだす力。

いま、その扉が開かれようとしている……

あけぼの大学

津奈木校区1月講座

津奈木校区の一月のあけぼの大学は、湯浦の恩徳寺のご住職、家城哲郎先生のご講話を拝聴しました。

「今日もまた新しい一日の始まり」の演題で、私たちの日常語に経文のことがたくさん使われていて、たとえを上げてお話をされました。

例えば、挨拶ということば、挨拶(押す)拶(せまる)ということばで、悟りの深い浅いを計るという意味があるので、心がもった挨拶が出来るようにしたい。その他、覚える、悟る、行儀、



有難いなど多くの例を示され、生きるということや生命の尊さについて話されました。

私たちの人生では、愛別(アイベツ)離苦(リョク)や怨憎会(オンゾウカイ)苦をはじめ、死、老、病、生など八つの苦しみがあり、これが「四苦八苦」のことばの起りになったと話され、受講生に「両手の指を一つ違いに動かさない」と指示されました。そして自分の指でさえ自由に動かされないことを確認させて、私たちの人生にも「在りのままを、在りのままに受け入れる心も大事にしたい」と話されたことが一番印象に残りました。寒い日でしたが心温まる半日でした。

お知らせ

津奈木町生涯学習フェスティバル

日時 十二月二十二日(日) 午後一時

場所 つなぎ文化センター

発表部門 民謡・手話・平国六方踊り・コーラス・フラダンス

赤崎小太鼓・小学生童謡発表・染竹棒踊り・舞鶴太鼓

展示部門 パッチワーク 陶芸・ちぎり絵 押し花

平成十一年度の町民講座や自主学習の発表の場として行なわれます。皆様の声援をお願いします。



編集後記

文化センター横に建設中の教育委員会が完成します。十二年度からは文化センター、図書館、教育委員会と同じ区画にまとまったことで、社会教育、学校教育の充実がより一層計られていくことでしょう。

また、リニューアルした図書館には、職人さん手作りのテーブルや書棚が配置され、新刊も数多く入りましたのでご利用下さい。

津奈木町郷土史料
薩摩街道

建設省は、平成十年十一月新道路技術五箇年計画を策定し、この計画に基づき研究開発を推進している。この計画の最大の目標は、道路に対する社会の期待を、道路環境の改善、道路と生活の安全・安心の向上、道路交通の効率性の向上、道路事業の効率性の向上、道路政策を評価するシステムの開発を含めて、五項目の主要開発テーマの完遂を目標としている。津奈木町の道は古くは、薩摩街道が随一のもので往還だったろう。九州に昔国制が確立されたのは筑前、筑後、豊前、豊後、肥前、肥後、日向、壱岐、対馬の七国二島が置かれた七〇一年のこと、このとき九州全体を、中央の畿内に対して西海道とし、太宰府で九州全体を統治した。現在九州各地の産物を、東京へ輸送するとすれば南端の鹿児島からトラックに積んだとしても、中二日もあれば充分到着する。しかし、交通手段が発達していない当時、九州各地の貢租を搬送するにはどれ程の時間を要したであろうか、西路をとった場合、薩摩と肥後の

の間一日間、九州各地の貢租（産物）を搬送するには太宰府に集荷した。したがってここにあげた期間は集荷するまでの期間で、畿内の朝廷まで搬送するには約三十日は要したものと考えられる。斯様なわけであるから途中時間が成可くかからないように直線（なげな）でなければならぬ。津奈木町内を通っているのは薩摩国へ行く薩摩街道であるが津奈木町内に標柱を建てたのは文化七年（一八一〇）に六車文太等の測った記録が残っている薩摩街道で、道路は時代と共に生きているので他に数通り存在するかも知れない。現在判っているのは六車文太等の測った伊能図他に手永図、鳥居絵図、名所旧跡の所在地に旧街道のあとに疑問を残すのみである。道とは人間にとっても重要な事である血道、剣道、柔道、華道等極まりのないものを云い、宗教には巡礼の道があり信仰の道、人の道があったりする。人が道に期待することは平常はこれにて宜しいが万一の場合はこれにて宜しいかと云う事である。

中学生になつても頑張れ!!

小学校を巣立っていく児童に新任校長として心に残る贈りものをしたいと、平国小学校大塚博資校長は、作品づくりに奮闘中です。あれこれと思案の結果、余暇を利用して粘土を捏ねて粘土板をつくり、それを校長室に備え、児童が自ら考えた教訓や諺などを昼休みや放課後に校長室にて粘土板に一生懸命書き込んだ。

一月二十六日、平国小学校の一・二年生であけぼの苑を訪問しました。ちょうど平国のデイケアの日で、「あら、○○ちゃんはい」などと話しながら、おじいちゃん、おばあちゃん達はとてもうれしそうに子ども達の発表を見ておられました。子ども達も、「拍手してもらえてうれしかった。また行きたい。」と、とても喜んでくれました。

あけぼの苑を訪問して
平国小児童

これは、一年生の福山侑里さんの感想作文です。

『さよう、あけぼのえんに
いきました。さいしょにぐ
んどくをしました。まちが
えようとしましたが、まち
がえずにすみしました。つぎ
に二ねん生のぐんどくでし



だようです。その作品の焼き上げも児童と共にと考えられたようですが、身近かに窯がなく、友人の窯を借りて焼き上げられたとのこと、その一部が立派に出来上った作品として、職員室前の陳列棚に飾られ、児童



を待つています。



読書感想文
よわむしなおばけを読んで

よわむしなおばけ
を読んで、わたしは
ちのところにも、お
ばけがいるのかなあ
と思いました。こん
なかわいなおばけだ
ったら、わたしもこ
わくないけどなあと思
いました。

おばけは、みつち
やんのような子ども
には、わるいことも
しないし、おどろかせも
なかったの、みつちゃん
とすぐおともだちになりま
した。いっしょにベッドで
ねむったりして楽しそうだ
と思いました。

おとなのみつちやんのパ

読書感想文

よわむしなおばけを読んで

平国小2年 松本沙津紀

りとばしてやろう。」
と言いました。それ
でおばけは、にげて
いつてしまいました。
おばけがもうすこし
つよかったら、みつ
ちゃんのパパとママ
とも友だちになれた
のにと思いました。

このおばけは、お
たまじやくしのよう
な形に、目が三つあ
るおばけです。わたしも春
になったら、おたまじやく
しをつかまえて、目が三つ
あるおばけを見つけないと
思います。そして、わたし
もこわがらずにお友だちに
なりたいと思います。

赤崎小の
ハッスル先生

ここに、こんな人が……

石原公顕先生(34)
森 安広先生(31)
赤崎小学校でユニークな活動に取り組んでおられる二人の先生を紹介します。

石原先生は赤崎太鼓の指導にあたっておられます。

太鼓といっても水俣湾の仕切網に使用されていたブイをリサイクルしたもので音が単調なだけに如



石原先生 森先生

何に技術面でカバーできるか創意工夫され現在の赤崎太鼓が出来上がったそうです。子供たちも先生の思惑どおり見事に演じてくれ、自身も舞鶴太鼓の一員として活躍中です。

一方、森先生は主にスポーツを担当されていて、一つのスポーツだけでなく季節



石原先生 森先生

節に適應したものを心掛けておられるそうです。

夏休みにはせり舟大会に参加する為に休みも返上して指導されました。

運動会には先生の歌に合わせて子供たちが踊り、また一般の飛び入りの参加もあり大いに盛り上がりました。これは児童会で子供たちが提案したそうです。お互いの信頼関係があつてこそこういう発想が生まれてくるのだと思います。

お二人ともいつまでも子供たちに慕われる先生でいて下さい。

(篠原記)

合格祈願
餅つき大会



短歌

宿業のごとく修理をかさねきし
古き土蔵もいつまで保つ

肥後狂句

霜どけの山路のめぐり枯草に
うもれよもぎの芽ぶきていたり
野田 浦子

肥後狂句

会が、楽しく行われました。
生徒が授業でつくったものと寄付による餅米70キロ、午前中に終わるかなと心配しましたが、お父さんお母さん方の熱心な指導と、どっしり腰の入ったお手本、そして生徒のパワーによりみるみる間につき上がり、あんころ餅、紅白餅がたくさんできました。何度も味

見しているので、出来も立派です。さっそく全校生徒あけぼの苑、白をお借りした赤崎小などにおすそ分け、喜んでいただきました。

準備、後片付けなど大変なご苦労をいただいたPTA役員をはじめ、たくさんの方々のご協力で、願いの天に届いたことと思います。ありがとうございます。

現在わたしは初の産前休暇中で、出産予定日まであと約一週間となつて、この原稿を書いています。

「お腹に赤ちゃんがいるつて、こんな感じなんだよ。」そうはつきり実感で

きるようになったのは、お腹も随分大きくなって、胎動もかなり強くなつてからだつたように思います。お腹が大きくなる前は、つわりの時期も楽に過ごせたこともあり、生活も特別普段と変わることもなかったため、妊娠についてあまり実感がわきませんでした。

出産を経験された皆さん

わたしの妊娠気分

胎動経験の感想は、お腹の中で小さな魚が、ピチピチと飛び跳ねたような（魚の躍り食いという料理がありますが、それに近い感じでしょう）か？ちなみに魚の躍り食いの経験はありません

町保健婦 荒川 曉美

わたしは保健婦という仕事柄、乳幼児健診や様々な教室を通して、幸運にも小さな子供さんを持つお母さん方と出産前に多く接する機会をもつことができました。そこで学んだ知識や実

え、女性にしか味わえない貴重な時間を過ごしていることに、とても感激しています。そして、この公民館報が完成した頃には大きかったお腹もスリムになり、元気な赤ちゃんを抱いていることを祈っています。

体験の話は、仕事面にもわたし自身にも大変参考になりました。今後は、わたしの実体験（特に失敗談など）も交えて復帰後、保健婦活動にうまく活用していきたいと思います。

今、大きく前に突き出た

その名を呼びぬ胸あつくして
白浜美和子
二千年異変あるかにさわがれて
ことなく向ふ安堵のあした
沢田しづを
二千年燦々^{きらめ}とくき初日の中にして
未来のことは思い及ばず
椎葉 豊子
夫病みてかざるすべなき鏡餅
今年は吾の手にて供ゆる
福田八重子

万葉
飲みなせ 下戸にヤジヲキでウーロ茶
あと話 お百度踏んでもらわしたつ
白足袋
飲みなせ 何の遠慮はしまししゆか
あと話 知らんじやった俺はっかり
寅之助
〔次笠〕○腹ン立つ ○ホヤホヤ
一笠二句ずつ四月十日まで
つなぎ文化センターへ